

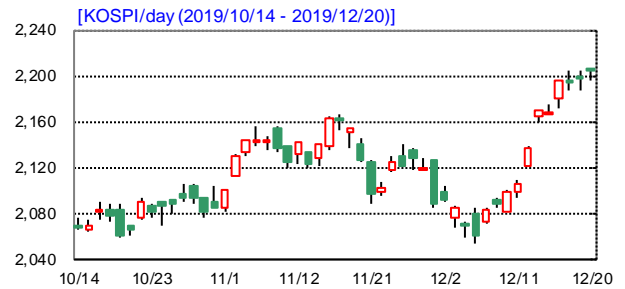


【韓国】 総合指数は週間で1.6%高と続伸、今週は「北朝鮮リスク」に注意か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で1.6%高と続伸。高値圏で上値を試す展開となった。前週に大きく上昇した後で目先の利益を確定する売りも出やすかったが、好調な米株相場や半導体需要の回復期待などを背景に買い優勢の展開。サムスン電子やSKハイニクスへの買いなどが相場を支える中、20日には終値ベースで節目の2200ポイントを上回り、今年5月2日以来、およそ7カ月半ぶりの高値で引けた。今週は25日が聖誕節（クリスマス）の祝日で休場となり4日間の取引。市場参加者が減り、薄商いとなる中で方向感に欠ける展開が予想される。一方、非核化交渉で不満をみせる北朝鮮が米国への「クリスマスプレゼント」として「何らかの措置」をとる可能性を示唆している。地政学リスクが急速に高まる可能性にも注意しておきたい。

▼指数チャート

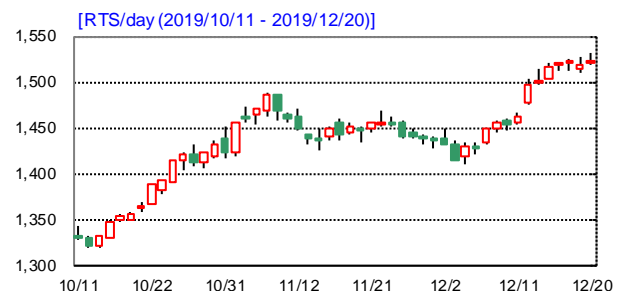


【ロシア】 RTS 指数は週間で1.5%高と3週続伸、今週は利益確定売りが強まるか

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で1.5%高と3週続伸。原油高・ルーブル高や米中通商協議の進展、良好な経済指標が好感された。米中通商協議「第1段階」の合意文書への署名が1月上旬に行われる見通しが強まり、それに伴い原油価格も底堅く推移。ルーブルが対ドルで2018年7月以来の水準に上昇したほか、強い内容の11月の実質賃金や小売売上高も支援となった。指数は前週の11日から18日まで6日続伸。19日は小幅に反落したものの、20日は反発し、終値で1523.77ドルと6年9カ月ぶりの高値を更新した。個別銘柄では、天然ガスのノバテック（2.6%高）、ガスプロム（2.4%高）、金融のズベルバンク（1.5%高）などの上昇が指数を押し上げた。今週は高値警戒感が意識される中、年末を控えて利益確定売りが強まるか。

▼指数チャート



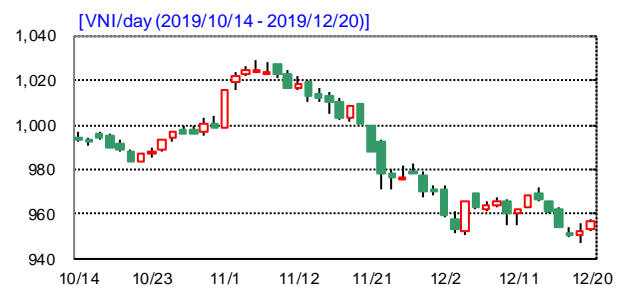
【ベトナム】 ベトナム指数は1.0%安と反落、今週は生産設備移転の鈍化懸念が重

しか

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.0%安と反落。米中通商協議の進展を受け、中国からの企業移転を通じたベトナム経済振興への期待が後退し、相場の重しとなった。米中通商交渉の「第1段階」合意文書への署名が1月上旬に行われる見通しとなり、協議が一段と進展するとの見方が広がった。米中関係の悪化で中国の生産拠点のベトナム移転が経済発展の追い風になっているが、米中の関係改善で摩擦の恩恵を受ける不動産やインフラの関連株が売られた。指数は18日に951.13ポイントと6月28日以来の水準まで下落。個別銘柄ではビンホームズ（5.5%安）、マッサングループ（5.2%安）、ペトロベトナム・ガス（2.0%安）などが指数を押し下げた。今週も米中関係改善の見通しを背景に中国からの生産設備移転が鈍化するとの懸念が重しか。

▼指数チャート



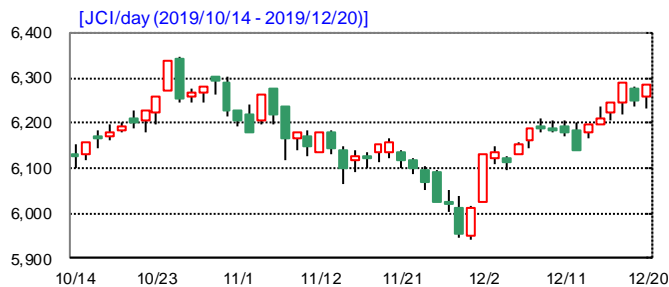


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.4%高、18日に終値で7週間ぶりの高値更新

ジャカルタ総合指数は週間で1.4%高と3週続伸。週初に終値で約6週間ぶりに6200ポイントに乗せると、その後もおおむね堅調に推移した。16日は11月の貿易赤字が4月以来の最高額に増加したものの影響は軽微で、指数は続伸。18日には終値で7週間ぶりの高値を更新したが、19日は中央銀行が政策金利を据え置いたことが売り材料となり、5営業日ぶりに反落した。20日は米中貿易協定の「第1段階」の合意について、ムニューシン米財務長官が1月に署名すると述べた効果で反発している。今週は国内の経済イベントが少ない中、前週の勢いが続くかが焦点。24-25日はクリスマスの祝日で休場となる。

▼指数チャート

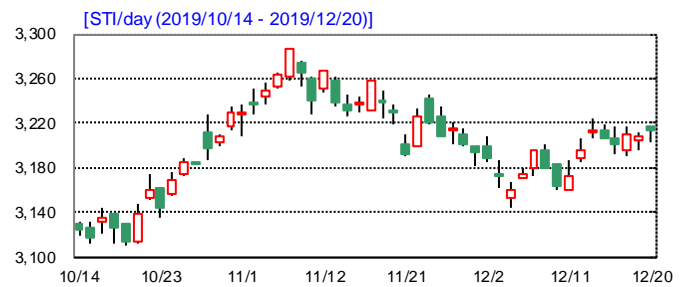


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.1%安、11月の非石油地場輸出は9カ月連続の前年割れ

ストレーツタイムズ指数は週間で0.1%安と小幅ながら3週ぶりに反落。週末に上昇したが補えなかった。週初の16日に4営業日ぶりに反落すると、17日は11月の非石油地場輸出が前年同月比5.9%減と9カ月連続で前年割れするなど、買い材料に乏しく続落。その後も3200ポイントを挟んでもみ合いが続いたが、20日は前日に中国財務省が米国製品に対する関税免除品目を新たに公表した効果で上昇した。今週は23日の11月のCPIに続き、26日には鉱工業生産が発表される予定。外部要因では中国の11月の工業部門企業利益が意識されそうだ。24日はクリスマスイブのため半日立ち合い、25日は休場となる。

▼指数チャート

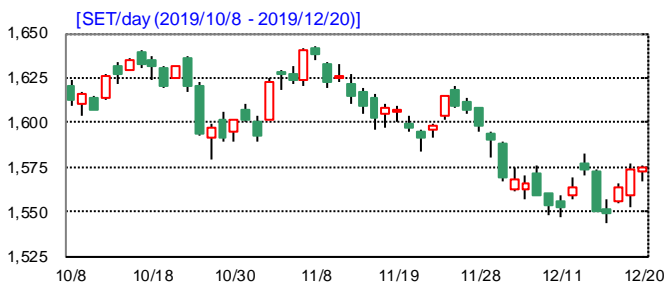


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.1%安、今週は 11月の経済指標に注目

SET 指数は週間で0.1%安と反落。週初の下落が響いた。16日は中央銀行が18日に開催する定例会合で、今年の経済成長率の見通しを再び下方修正するとの見方が広がった影響で、指数は前営業日比1.5%安と3営業日ぶりに反落。18日はGDP成長率の予想が引き下げられたものの、11月の米住宅着工件数と建設許可件数がそろって市場予想から上振れし、世界経済の減速懸念が弱まった効果で前日比1.0%高と反発した。19-20日は1570ポイントを挟んでもみ合っている。今週は23日に発表が遅れた11月の貿易統計（通関ベース）に対する市場の反応が焦点となるほか、25日には鉱工業生産が発表される予定。

▼指数チャート

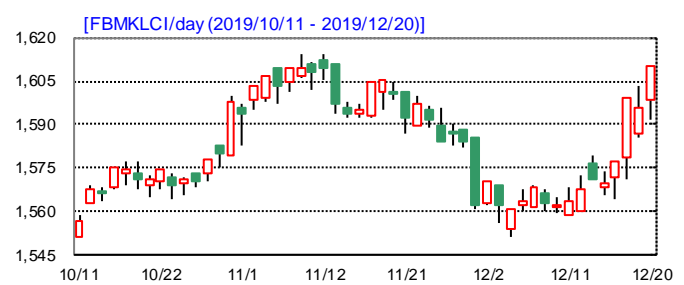


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 2.5%高、今週はお化粧品買いの継続に期待

クアラルンプール総合指数は週間で2.5%高と3週続伸。おおむね好調な値動きで、週末に終値で節目の1600ポイントに到達した。週初の16日は米中貿易交渉の第1段階合意後の動向に対する警戒感から売られ、指数は4営業日ぶりに反落。ただ、17日に反発すると、18日は引け際に買いが集中し、終値で前日比1.4%高と続伸した。19日は米下院本会議でトランプ大統領の弾劾訴追が決議された影響で反落した一方、20日は年末に向けたお化粧品買いで買い優勢となり、終値で約4カ月ぶりの高値を更新して引けている。今週は前週末の勢いが継続すれば、さらに上値を追い展開か。25日はクリスマスのため休場。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。